

医療安全推進のための薬薬間事例共有モデル
～医療機関側からの共有事例～

事例 No. 1

令和 4年 3月 10日

共有事例の概要

プレドニゾン漸減中の処方漏れに伴い、副腎機能低下症に至った事例

患者年代：—

患者性別：—

対象となった薬剤

プレドニゾン錠

事例発生の経緯、報告（患者背景・対応・処理中など含む）

外来診療において、プレドニゾン連用後に漸減中、医師の処方漏れにより服薬中断。3日後から頭痛と倦怠感が出現。5日後には吐気が出現し、これらのステロイド離脱状況から緊急入院となり、副腎機能低下症と診断された。

発生事例に対する病院側における要因

医師の処方漏れ

発生事例に対する薬局側における要因

疑義照会漏れ

医療機関からの伝達・提案・要望等

処方鑑査において、プレドニゾン連用後の急激な減量、中止が疑われる場合は、積極的に処方医師へ疑義照会をお願い致します。また服薬指導においては、自己判断や不注意で服薬を中断しないように、十分な説明をお願い致します。

公益社団法人 相模原市薬剤師会

〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-1

TEL : 042-756-1502 FAX : 042-758-9615